

パース大会の舞台裏

世界的に著名なエアレースをパースで開催するきっかけはなんだったのでしょうか。エアレースのパース大会を運営している EventsCorp の David Prestipino さんにインタビューをして、大会の裏側について聞きました。



David Prestipino さん

EventsCorp
corporate communications spokesperson

イベントコープ
コーポレート・コミュニケーション・スポークスパーソン

Photo Courtesy of EventsCorp Western Australia

Q：エアレースをパースに誘致した理由は何ですか？

A：最初西オーストラリア (WA) 州政府観光局では、WA 州で行われるイベントの中で、州全体を盛り上げることができる比較的大きなイベントの誘致を考えていました。レッドブル・エアレースに注目した理由は、世界的に有名で年間何十万人もの観客を集めていたこと、WA 州を代表する観光スポットであるキングスパークとスワン川のエリアを会場とすることができると考えたからです。

Q：昨年、イベントの運営で大変だったことは何ですか？

A：昨年は、総合的にはスムーズに大会が運営されたと思いますが、初めての開催でしたので、大会前に予想していた観客数よりもはるかに多い 30 万人を越える観戦客数に、公共交通機関や車の駐車など、交通に関する問題がいくつかありました。今年は、そのような問題点を改善する計画をしていますので、また多くの人に観に来てもらいたいですね。

Q：昨年のエアレースは、パース、または WA 州全体にどのような影響があったと思いますか？

A：WA 州の観光業に特に大きな影響がありました。エアレースのために、約 9,000 人の旅行客が WA 州以外から訪れ、それらの人々の出費と、多くのメディアによってパースという名前が世界的に知られたことで、1,400 万ドル以上の経済効果があげられました。

Q：今年の観客数の予想は？

A：レース本戦の 11 月 4 日だけで、20 万人以上ですかね。2 日間で、少なくとも初回の昨年より多い、約 35 万人は訪れるでしょう。

Q：来年もエアレースはパースで開催されますか？

A：現在 WA 州政府観光局では、2008 年までパースでエアレースを開催することをレッドブルと契約しています。

Q：読者にメッセージをお願いします。

A：ぜひサウス・パースの川岸に来て、世界的にもユニークで、迫力溢れるこのスポーツ・イベントを観戦して下さい！



Photo by Balazs Gardi

コラム

今年のパース大会 昨年と何が違うの??

今年初めてエアレースを観る方と 2 年連続で観に行くことを決めている方、両方の方にお届けする、知っている役に立つ (おもしろい?)、昨年と今年のパース大会の違いです。

違い1 イベント・スケジュール

2 日間の大会は、両日ともに一般観客客に開放される。国内全土でエアレースは注目されているため、国内東海岸側でもライブで放映される。

違い2 レースコース

WA 州政府観光局から、テレビ放送でパースの街並をもっと頻繁に見せたい、という願いから、今年はスタートとゴールの位置が昨年と逆になりサウス・パース側から見て左側になった。

違い3 エンターテインメント性の向上

昨年と比べ、飲食物のお店やグッズ販売店、トイレの数などを増設。また、パース市側の観客が更に楽しめるように、WA 州政府観光局によって巨大モニター 2 台が川上に浮かべられ、レースの状況が伝えられるようになった。

違い4 ラジオ放送エリアの拡大

今年はスワン川周辺やキングス・パークなど、大会エリア全域でラジオによってレースの様子が聞けるようになった。席取りが遅れて遠くから観ることになっても、十分な迫力が伝わるのが嬉しい。周波数はエアレースのウェブサイト (P15 参照) をチェック。

違い5 特別予約席の設置

エアレースを一番良い場所で観たい! という観客のために、今年では 3,000 席の特設観客席ができた (チケットは P15 を参照)。

違い6 Extra 300L がパース市内に登場

WA 州政府観光局がスポンサーをしているエアレースと同じタイプの航空機「Extra 300L」がプロモーションのため、開催日までパース市内にディスプレイとして登場する。当日は、メディア機として使用される予定。

Information Courtesy of EventsCorp Western Australia